

第 490 号 2020 年 4 月 1 日
弘前大学総務部総務広報課

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、学外者が参加する行事等は自粛・延期、または規模縮小のうえ実施しております。

最新の情報は弘前大学公式ホームページ (<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>) にてお知らせいたします。

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

弘前大学出版会 編「弘前大学レクチャーコレクション 学びの世界へようこそ」(A5判、307頁、本体1,600円+税)を出版しました。

～紹介文～

大学ではどんなことが学べるの？どんな授業をしているの？のぞいてみよう、知の世界(ユニバース)

“Learning Can Create, Connect, Change, Cure and Comprehend the World.”

「学問は世界を創る、つなぐ、変える、癒す、理解する(分かる)」

70年のあゆみを重ねた弘前大学が総力を挙げてお届けする学問の世界への招待状。人文社会科学部、教育学部、医学部医学科、医学部保健学科、理工学部、農学生命科学部に所属する先生たちが、やさしくわかりやすい語り口で、バラエティーに富んだテーマから大学で学ぶことの楽しさを紹介します。これから大学で学ぼうとしている人、現在大学で学んでいる人、かつて大学で学んだことを振り返ってみたい人、それぞれに手に取っていただきたい、「読むオープンキャンパス」です。



ご興味をお持ちの方は大学生協または最寄りの書店でお買い求め下さい。

嶋 昭紘 監修 (東京大学名誉教授・弘前大学名誉博士)

柏倉幾郎 編著 (弘前大学大学院保健学研究科放射線技術科学領域教授・弘前大学被ばく医療総合研究所被ばく医療学部門教授)

知の散歩シリーズ2 『福島に学—放射線科学の展開を目指して』

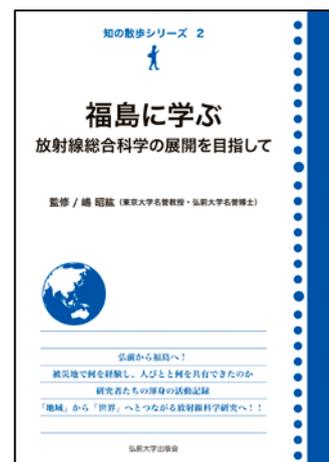
(A5判、170頁、本体1,500円+税)を出版しました。

～紹介文～

弘前大学は、多くの原子力関連施設が立地する青森県の地域的な背景を踏まえ、2008年から様々な被ばく医療に対応可能な体制整備や人材育成に取り組んできた。2010年には現在の「被ばく医療総合研究所」や「高度救命救急センター」を開設している。そうした活動に取り組む最中の2011年に東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力福島第一原子力発電所事故が発生した。弘前大学は、事故直後から福島県内の避難所での支援活動に多くの教職員を派遣する一方、現地で多様な学術活動や情報発信に精力的に取り組んできた。

本書は、そうした活動に関わってきた幅広い研究者の取り組みと現在までの活動の歩み、さらには弘前大学で放射線科学分野の国際拠点化が進んでいる現況を紹介している。

ご興味をお持ちの方は大学生協または最寄りの書店でお買い求め下さい



Radiation Environment and Medicine 編集委員会 編「Radiation Environment and Medicine Vol. 1.9 No. 1」(A4変形判・pp. 1-45、定価1,100円+税)を出版しました。

～紹介文～

弘前大学は、原子力関連施設を擁する地域的な背景を踏まえ、平成20年度から被ばく医療体制の整備、被ばく医療に関わる教育・研究ならびに人材育成に取り組む、これまで多くの成果をあげてきました。東日本大震災後の原発事故対応ではこの成果が避難所での支援活動や様々な学術調査などの社会貢献につながり、こうした被ばく医療への取り組みは弘前大学の意欲的かつ特色ある事業の一つとなっております。また平成27年に原子力規制委員会から原子力災害医療に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」に指定され、平成30年度末には指定更新を受けて引き続き両センターの活動を継続する事となりました。



これまでの弘前大学による被ばく医療関連の人材育成事業の一環として平成24年3月に刊行を開始した被ばく医療に関する学術誌 Radiation Emergency Medicineは、第5巻1号から、より広い分野からの投稿に対応する目的で、誌名をRadiation Environment and Medicineに改めました。

第9巻1号には、放射線生物影響、放射線計測、被ばく医療教育、リスクコミュニケーション等の7報の論文が掲載されております。

今後も、放射線防護、線量評価、生物影響、放射線計測、被ばく医療教育、放射化学分析、放射線看護、疫学調査、臨床研究など放射線科学の幅広い分野にわたる論文を掲載していく予定です。

皆様からの投稿をお待ちしております。

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第52号」では、「発見！国立大学」において、内閣府「日本オープンイノベーション大賞」を受賞した弘前大学COIの取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第56号」

https://www.janu.jp/report/files/janu_vol56.pdf

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<https://www.janu.jp/report/>

その他、第52号・第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：INFO-HIRO-21は毎月1日、月1回発行しています。

講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿は発行予定日の7日程度前までに，掲載希望の旨付記し，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029